

2024（令和6）年9月27日

各 位

会社名 エヴィクサー株式会社
(コード：4257 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長CEO 瀧川 淳
問合せ先 管理部長 内田 優希
TEL 03-5542-5855（代表）
URL <https://www.evixar.com/ir>

（訂正）「2024年12月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

2024年8月14日に発表いたしました「2024年12月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）」につきまして、一部記載に誤りがありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「2024年12月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）」の公表後、記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、これを訂正するものであります。

2. 訂正箇所（訂正箇所には下線を付して表示しております。）

① サマリー情報 1. 2024年12月期中間期の連結業績 (2) 連結財政状態

【訂正前】

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	82	△121	<u>△148.6</u>
2023年12月期	127	△116	△91.5

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 △123百万円 2023年12月期 △116百万円

【訂正後】

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	82	△121	<u>△148.3</u>
2023年12月期	127	△116	△91.5

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 △122百万円 2023年12月期 △116百万円

② 添付資料 3 ページ 1. 当中間決算に関する定性的情報 (2) 財政状態に関する説明

【訂正前】

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は△121,730 千円となり、前連結会計年度末に比べ 5,034 千円減少しております。これは主に、連結子会社において第三者割当による新株発行を行ったことから資本剰余金が 45,524 千円増加した一方、親会社株主に帰属する中間純損失の計上により利益剰余金が 52,034 千円減少したことによるものであります。

【訂正後】

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は△121,730 千円となり、前連結会計年度末に比べ 5,034 千円減少しております。これは主に、連結子会社において第三者割当による新株発行を行ったことから資本剰余金が 45,784 千円増加した一方、親会社株主に帰属する中間純損失の計上により利益剰余金が 52,034 千円減少したことによるものであります。

③ 添付資料 6 ページ 3. 中間連結財務諸表及び主な注記 (1) 中間連結貸借対照表

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023 年 12 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2024 年 6 月 30 日)
	(中略)	
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,800	336,800
資本剰余金	276,800	<u>322,324</u>
利益剰余金	△730,296	△782,330
株主資本合計	△116,696	<u>△123,206</u>
非支配株主持分	—	<u>1,475</u>
純資産合計	△116,696	△121,730
負債純資産合計	127,596	82,918

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,800	336,800
資本剰余金	276,800	<u>322,584</u>
利益剰余金	△730,296	△782,330
株主資本合計	△116,696	<u>△122,946</u>
非支配株主持分	—	<u>1,215</u>
純資産合計	△116,696	△121,730
負債純資産合計	127,596	82,918

④ 添付資料 10 ページ 3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

【訂正前】

この結果、当中間連結会計期間において、資本剰余金が 45,524 千円増加し、当中間連結会計期間末において資本剰余金が 322,324 千円となっております。

【訂正後】

この結果、当中間連結会計期間において、資本剰余金が 45,784 千円増加し、当中間連結会計期間末において資本剰余金が 322,584 千円となっております。

以上